

和歌山県白浜町で強風と降雨の後で午後遅く鳴いた クマゼミ（半翅目，セミ科）

Droning of *Cryptotympana facialis* (Hemiptera, Cicadidae) in the late afternoon after rainfall and strong wind
in Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

南日本に広分布する我が国最大種のクマゼミ *Cryptotympana facialis*（半翅目 = カメムシ目，セミ科）は、通常は夏季の早朝から午前中に鳴く。しかし、台風通過で通常のように鳴けなかった場合、日の入り直前（19 時前後）に移行して鳴くという稀少例を、和歌山県西牟婁郡白浜町の繁華街で 2011 年 7 月 20 日に記録した（久保田，2011）。さらに、同じ白浜町に所在し、自然豊かな京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所構内で、台風襲来のない普段日（2012 年 8 月 8 日）の 17 時過ぎに、1 個体が 9 回も連続して鳴いたのを報告した（久保田，2013）。2013 年には瀬戸臨海実験所構内で、午後遅くの 15 時半以降に、少なくとも 12 日間も気象の異常のない日々に鳴いたのを報告した（久保田，2013）。

本年 2014 年、台風で風雨の強かった 7 月 10 日、強風と降雨が止むと直ぐに鳴き始め、夕方までに 3 回鳴いたので、ここに記録する。鳴いた時間は 14:51; 14:53; 15:44 で夕方ではなかったが、いずれも一回ずつ鳴いた。気象変化と共鳴する様に鳴き始めてからは連続して鳴いたが直ぐ終了し、その後一時間後に恐らく同個体が鳴いた。なお、その日の 16 時過ぎには台風の日に入り、しばし日差しもあったが、その時にクマゼミは鳴かなかったが、ニイニイゼミとアブラゼミが鳴いた。

今回の現象はこのことに気付いた 2011 年の場合に関連しており、台風通過で風雨が強く通常のように鳴けなかった場合、時間をずらして鳴く個体もいるという例になるのであろう。

引用文献

久保田 信 . 2011. 台風 6 号直後の和歌山県白浜町で日の入り直前に鳴いた複数のクマゼミ（カメムシ目 = 半翅目，セミ科）. KINOKUNI, (80) : 32.

久保田 信 . 2013. 和歌山県白浜町で 2012 年と 2013 年の午後 3 時半以降に鳴いたクマゼミ（カメムシ目，セミ科）. KINOKUNI, (84) : 17-18.

（くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）